

< 中学校授業計画事例 >

1 単元名 わたしたちの暮らしと民主政治（平等な社会を創る「部落差別からの解放」）

2 単元の目標

- 人間尊重についての考え方と法に対する関心を高め、民主的な社会生活について意欲的に考えようとする。 （関心・意欲・態度）
- 現代の日本の社会に存在する様々な差別の問題を多面的・多角的に考察し、差別の不合理性に気づくことができる。 （思考・判断）
- 人間尊重の考え方と法に関する様々な資料から、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することができる。 （技能・表現）
- 日本国憲法の三大原則について理解する。 （知識・理解）

3 単元計画（11時間）

主 な 学 習 活 動		配時
1	法にもとづく政治	1
2	日本国憲法のあゆみ	1
3	日本国憲法の三つの柱	1
4	自由であること	1
5	人間はみな平等	1
6	平等な社会を創る	1
	○ 部落差別について、資料をもとにその実態を知り、不合理性について考える。 （本時）	
7	人間らしく生きる	1
8	人権を守るための権利	1
9	自由と責任、権利と義務	1
10	広がる人権	1
11	人権尊重の国際的広がり	1

4 本時の主眼

- 部落差別について、資料をもとにその実態を知り、不合理性について考える。
- 平等権を守り、共に生きる社会をつくるため自分なりの考えを持ち、差別を許さない意識をもつ。

5 本時の展開

配時	学習活動と内容	教師の支援
2	1 前時学習の内容を振り返る。 ○既習の憲法で保障されている基本的人権は本当に守られているのか考える。 ○事前のアンケート結果を確認する。	○ 前時学習の法の下での平等などを想起し、人権は守られているのか考えさせる。

3	<p>2 本時学習のめあてを確認する。</p> <p>○新宮町内に人権啓発の看板がなぜあるのか考え、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 人権啓発の看板が置かれている理由を考えさせる。</p>
<p>部落差別をなくすために、私たちができることは何か考えていこう。</p>		
1 0 5 2 0	<p>3 部落差別の現実を知り、差別からの解放について学習する。</p> <p>(1) 就職差別について考える。</p> <p>○資料の違反質問を考え、意見交流する。</p> <p>○資料の事例をもとに、就職差別の中に部落差別が存在することを知る。</p> <p>(2) 歴史学習を振り返る。</p> <p>○身分制度から水平社宣言までの歴史の流れを提示し、部落差別の歴史を振り返る。</p> <p>(3) 同和対策審議会答申の意味を知る。</p> <p>○国の責務, 国民的課題とはどういうことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の責務 (実質的差別解消) <ul style="list-style-type: none"> → 心理的差別解消への措置 ・ 国民的課題 <ul style="list-style-type: none"> → 偏見などの心理的差別解消 ・ 私たち一人ひとりが差別をなくしていく担い手 <p>○国が責任をとらなければならない理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 政府に責任がある → 国民の意識を変える必要がある <p>○特に、重大な課題は、就職の機会均等が完全に保障されることであることを知る。</p>	<p>○ 学習プリント①から適性と能力が採否を判断するのであり、それ以外の質問は差別につながることに気づかせる。</p> <p>○ 学習プリント②から差別に立ち向かい闘ってきた人々、今なお闘っている人がいることを知らせる。</p> <p>○ 差別との闘いの延長線に同和対策審議会答申が出されたことにふれる。</p> <p>○ 差別のない社会は、一人ひとりの意識や行動によって実現されていくことを確認させる。</p> <p>○ 現代に生きる私たちの間違った認識や偏見が現代の差別を創り出すことを理解させる。</p> <p>○ 差別される側の問題ではなく差別する側の問題であることを確認させる。</p> <p>○ 就職の機会均等の保障には、教育の機会均等が前提であることにふれる。</p>
1 0	<p>4 学習プリントに本時のまとめを記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>部落差別は、身分による差別が当たり前の時代に作られた、古い考えに基づくものである。その後の人類の歴史で獲得された、全ての人は平等という新しい考えを、21世紀に生きる私たちは身につけ、行動していかなければならない。</p> </div>	<p>○ お互いの違いを認め合い、個性が生かせる社会であることをおさえる。</p> <p>○ 差別を見抜く、差別をしない、させないなどの差別をする側の意識の変革が大切であることをおさえる。</p>

社会科授業アンケート

(これからの授業の参考にします。自分の考え、行動を正直に書いてください。)

下の質問項目に対して、自分の考えや行動にあてはまるものに○をつけよう。

質問項目	はい	いいえ
1 法律は必要なものである。	4	3 - 2 - 1
2 法律にしばられるのはいやだ。	4	3 - 2 - 1
3 誰もみていなければ、きまりを守らなくてもよいと思う。	4	3 - 2 - 1
4 誰もみていなければ、きまりを守っていない自分がある。	4	3 - 2 - 1
5 現在の日本では、基本的人権が十分に保障されていると思う。	4	3 - 2 - 1
6 憲法で、平等権が保障されているので差別は存在しないと思う。	4	3 - 2 - 1

学習プリント

平等な社会を創る①

3年 組 ()

下の資料は、「新規高卒者への就職面接時の質問」です。

就職時の面接で行う質問として、適切ではない質問のことを「違反質問」とよんでいます。

*次の1～5の質問の中で、「違反質問」はどれですか。
「違反質問」には、《 》に×を、違反質問でなければ《 》に○をつけなさい。また、×をつけたものに関しては、違反だと思う理由を〔 〕に記入しよう。

質問1 「家族、親戚の中で、建設関係の仕事をしている人はいますか。」

《 》 《 》 { }

質問2 「お父さんお母さんのお仕事は何ですか。」

《 》 《 》 { }

質問3 「あなたの血液型を教えてください。」

《 》 《 》 { }

質問4 「あなたが尊敬する人を教えてください。」

《 》 《 》 { }

質問5 「あなたの出身地を教えてください。」

《 》 《 》 { }

めあて

**今なお残る差別を知り、差別をなくすために、
私たちができることは何か考えていこう。**

(1) 歴史を振り返ろう。

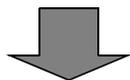
*下の年表の () の中にあてはまる言葉を記入しよう。

- 1603年・・・(①) 幕府成立
武士の支配を強化するために、分断政策
- 1871年・・・(②) 令
- 1922年・・・(③) 結成
差別から解放を求めて自ら立ち上がる



そして現代

- 1965年・・・(④) 答申 が出される。



《前文内容》

審議会は、これ（差別をなくす問題）を
未解決に放置することは断じて許されないことであり、
その早急な解決こそが国の(⑤) であり、
同時に(⑥) である。

**(2) 今日の学習をもとに、「差別」なくすためにあなたに
できることは何か考えて書いてみよう。**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....